岡山畜産便り 1965.02

試験報告

昭和 38 年度鶏産卵能力集合検定結果の概要

岡山県養鶏試験場

岡山県が鶏産卵能力検定事業を開始したのは、昭和９年のことである。以後毎年実施され、この検定結果は、鶏の育種改良の指針として、また養鶏農家がひなを購入する際の資料として、大いに活用、利用されてきた。

この事業が今日まで、本県養鶏界において果した役割りはまことに大きく、とくに種鶏家の育種改良意慾の高揚に力があったように思われる。

１、出品者及び検定件数

検定出品は種鶏業者に限られる。検定件数は、単冠白色レグホーン種 14 件、横斑プリマウスロック種１件、ニューハンプシャー種１件、計 16 件。

第1表　群　別　成　績

出品者氏名	種類	検定番号	検定羽数 開始	斃死	終了	産卵成績 合格卵 個数	重量	不合格卵 個数	重量	合格卵数区分別羽数 300卵以上	250卵以上	200卵以上	200卵以下
河田郁雄	W.L.	63 1～10	10	2	8	2,672	55.4g 147,956.5	4	g 173.5	5	2	2	1
大橋寿志	〃	11～20	〃	1	9	2,959	55.2 163,244.5	—	—	6	3	1	—
酒井一夫	〃	21～30	〃	1	9	2,551	52.0 132,632.5	8	327.0	3	5	1	1
林住雄	〃	31～40	〃	1	9	2,893	56.1 162,377.0	—	—	7	1	1	1
赤木文吉	〃	41～50	〃	1	9	2,817	56.2 158,202.5	—	—	5	4	—	1
桐野博	〃	51～60	〃	1	9	2,653	53.3 143,586.5	13	560.0	1	8	—	1
日下馬治	〃	61～70	〃	1	9	2,857	56.6 161,659.0	4	151.5	6	3	—	1
山上茂吉	〃	71～80	〃	1	9	2,787	54.0 150,396.5	5	206.0	4	5	—	1
吉田稔	〃	81～90	〃	—	10	2,951	54.0 159,316.5	2	70.0	4	5	1	—
石田健	〃	91～100	〃	—	10	3,050	55.4 168,975.5	—	—	6	4	—	—
阿部要	〃	101～110	〃	—	10	3,017	56.0 168,935.0	—	—	7	2	1	—
津山種鶏農協	〃	111～120	〃	1	9	3,064	53.5 164,017.0	4	167.0	6	4	—	—
川本肇	〃	121～130	〃	—	10	2,828	53.0 150,018.5	5	208.0	7	1	—	2
三宅節太	〃	131～140	〃	1	9	2,959	56.6 167,584.0	3	128.5	6	4	—	—
三宅忠一	B.P.	141～150	〃	—	10	2,750	54.4 149,617.5	2	84.0	3	5	2	—
山上茂吉	N.H.	151～160	〃	—	10	2,430	54.1 131,524.5	4	166.0	1	4	4	1
計	W.L.		140	11	129	40,058	54.9 2,198,901.5	48	1,991.5	73	51	7	9
	B.P.		10	—	10	2,750	54.4 149,617.5	2	84.0	3	5	2	—
	N.H.		10	—	10	2,430	54.1 131,524.5	4	166.0	1	4	4	1

２、検定方法

（１）検定鶏の選び方

各種鶏家が育種改良し、育成した若雌群の中から、検定依頼者が、１件について 10 羽を選抜する。

（２）検定事項

産卵個数及び産卵重量について、毎日測定記録する。

（３）検定鶏の飼養管理

検定場に搬入された出品鶏は、運動場付きの平飼鶏舎に 10 羽づつ収容され、同一条件下において、熟練した管理者によるゆきとどいた管理がなされる。

給与飼料は当場配合のものを用い、その能力が充

分発揮できるよう考慮している。

（4）検定期間

昭和38年11月1日から39年10月15日までの350日間

3、検定の結果

群別の成績は第1表、個体別の成績は第2表及び第4表に示すとおりである。

数字は350日間の合計であり、不合格卵とは、軟卵・小卵（45グラム未満）・二重卵・奇型卵・および産卵鶏不明の巣外卵を指す。

（1）産卵個数

先ず群の成績をみると、第1位は石田健氏出品の鶏群で、3,050個、（農林大臣賞受賞、知事賞受賞）、第2位は阿部要氏出品の鶏で3,017個（農林部長賞受賞）、第3位は吉田稔氏出品の群で2,951個（農林部長賞受賞）の順であった。（群の成績の審査は10羽揃って終了した群について行う）

次は個体別の成績をみると、350日間無休産鶏は大橋寿志氏出品の63－16号、林住雄氏出品の63－33号、及び津山種鶏農協出品の63－120号の3羽（いづれも農林部長賞受賞）である。

（2）産卵重量

群の成績で最も優れているのは、石田健氏出品鶏群の168キロ975・5グラム、ついで阿部要氏出品群の168キロ935グラムであった。

個体別にみると、19キロ以上が6羽18キロ以上が18羽であった。最も重量が大きかったのは津山種鶏農協出品の63－119号が19キロ753グラム（農林部長賞受賞）、ついで赤木文吉氏出品の63－48号が19キロ665グラム、大橋寿志氏出品の63－16号（無休産鶏）が19キロ507グラムの順であった。

（3）産卵率

種類別に産卵率を比較すると第3表のとおりである。

白色レグホン種は4月の94・3パーセントをピークに、漸次低下し年間産卵率は84・5パーセントであった。

これに対し、横斑プリマウスロック種は11月－3月までは、白色レグホン種をりょうがするが、4月から下降しはじめ、7月8月には54から53パーセントに落ち、9月に再度上昇を示した。またニューハンプシャー種は5月から急激に低下し、8月は44.5パーセントで、著しく悪い。

（4）生存率

種類別の生存率は白色レグホン種92・1パーセント、横斑プリマウスロック種及びニューハンプシャー種は100パーセントであった。白色レグホン種の斃死鶏11羽について、病類別に内訳すると、内臓型淋巴腫症4羽、腫瘍2羽、肝臓疾患2羽、生殖器病3羽であった。

第2表　個体成績（個数）320卵以上

順位	依頼者氏名	種類	検定番号	個数	重量
				個	g
1	大橋寿志	単冠白色レグホーン種	63—16	350	19,507.0
2	林住雄	〃	33	〃	18,606.5
3	津山種鶏農協	〃	120	〃	18,382.0
4	林住雄	〃	37	348	18,543.0
5	大橋寿志	〃	13	342	17,651.5
6	日下馬治	〃	61	340	18,254.0
7	河田郁雄	〃	1	339	19,365.5
8	日下馬治	〃	67	338	19,176.5
9	吉田稔	〃	88	〃	17,776.0
10	大橋寿志	〃	15	337	18,591.0
11	林住雄	〃	39	336	18,808.0
12	阿部要	〃	109	〃	17,592.5
13	山上茂吉	〃	75	333	19,439.0
14	〃	〃	77	332	16,499.0
15	石田健	〃	98	331	17,767.0
16	川本肇	〃	124	330	18,117.0
17	三宅節太	〃	138	〃	17,882.5
18	津山種鶏農協	〃	117	〃	17,210.5
19	〃	〃	119	329	19,753.0
20	赤木文吉	〃	49	328	19,665.0
21	阿部要	〃	108	326	18,382.5
22	山上茂吉	ニューハンプシャー種	154	325	18,744.0
23	石田健	単冠白色レグホーン種	100	〃	17,239.5
24	山上茂吉	〃	76	〃	16,691.0
25	日下馬治	〃	64	324	18,761.0
26	〃	〃	69	〃	18,389.0
27	津山種鶏農協	〃	116	〃	17,032.0
28	吉田稔	〃	90	323	17,021.0
29	山上茂吉	〃	71	322	17,816.0
30	石田健	〃	94	〃	17,768.5
31	酒井一夫	〃	21	321	16,585.5
32	赤木文吉	〃	44	320	18,628.0
33	大橋寿志	〃	18	〃	18,365.0
34	日下馬治	〃	62	〃	17,995.5

第3表　種類別産卵率　(%)

種類	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	年間
W.L.	91.8	90.5	87.7	88.1	93.1	94.3	89.6	83.9	75.2	73.5	69.9	64.4	84.5
B.P.	94.3	90.6	93.9	89.3	93.2	84.7	83.2	76.7	54.2	53.2	65.0	51.3	78.6
N.H.	91.3	90.6	75.5	79.0	78.7	81.0	67.7	64.7	52.3	44.5	49.7	48.0	69.2
平均	92.0	90.5	87.3	87.6	92.2	92.8	87.7	82.2	72.3	70.2	68.2	62.4	83.1

4、過去の成績との比較

昭和38年度の検定結果を過去の成績と比較すると、第5表及び第1図のとおりである。

先ず、白色レグホン種では生存率が35年度と同率で最もよく、産卵率でもいづれの年よりもすぐれている。横斑プリマウスロック種は、37年度の産卵率83・9％には及ばず、平年なみである。ニューハンプシャー種は、生存率においては、36年度以来100パーセントであり、産卵率は例年にくらべて、著しく不良であった。

（岡山県養鶏試験場古市技師）

第4表　個体成績（重量）18㎏以上のもの

順位	依頼者氏名	種類	検定番号	個数	重量	1コ当重量
				個	g	g
1	津山種鶏農協	単冠白色レグホーン種	63-119	329	19,753.0	60.0
2	赤木文吉	〃	48	328	19,665.0	60.0
3	大橋寿志	〃	16	350	19,507.0	55.7
4	山上茂吉	〃	75	333	19,439.0	58.4
5	河田郁雄	〃	1	339	19,365.5	57.1
6	日下馬治	〃	67	338	19,176.5	56.7
7	阿部要	〃	104	319	18,809.5	59.0
8	林住雄	〃	39	336	18,808.0	56.0
9	日下馬治	〃	64	324	18,761.0	57.9
10	山上茂吉	ニューハンプシャー種	154	325	18,744.0	57.7
11	赤木文吉	単冠白色レグホーン種	44	320	18,628.0	58.2
12	三宅節太	〃	136	305	18,627.0	61.1
13	林住雄	〃	33	350	18,606.5	53.2
14	大橋寿志	〃	15	337	18,591.0	55.2
15	林住雄	〃	37	348	18,543.0	53.3
16	日下馬治	〃	69	324	18,389.0	56.8
17	阿部要	〃	108	326	18,382.5	56.4
18	津山種鶏農協	〃	120	350	18,382.0	52.5
19	大橋寿志	〃	18	320	18,365.0	57.4
20	日下馬治	〃	61	340	18,254.0	53.7
21	三宅忠一	横斑プリマスロック種	149	309	18,186.0	58.9
22	三宅節太	単冠白色レグホーン種	134	311	18,185.0	58.5
23	川本肇	〃	124	330	18,117.0	54.9
24	赤木文吉	〃	41	317	18,014.0	56.8

第5表　年次別成績

年度	種類	羽数			生存率	産卵数別羽数								産卵指数	産卵率	平均卵重
		開始	斃死	終了		300卵以上		250卵以上		200卵以上		200卵以下				
					%		%		%		%		%		%	g
34	W.L.	310	34	276	89.0	137	44.2	102	32.9	30	9.7	41	13.2	268.1	80.9	54.8
	B.P.	40	3	37	92.5	15	37.5	11	27.5	9	22.5	5	12.5	254.5	77.1	56.0
	N.H.	10	2	8	80.0	—	—	7	7.0	1	10.0	2	20.0	235.1	78.3	56.7
	計又は平均	360	39	321	89.2	152	42.2	120	33.3	40	11.1	48	13.4	265.7	80.4	54.9
35	W.L.	330	26	304	92.1	139	42.1	124	37.6	38	11.5	29	8.8	277.8	81.5	55.6
	B.P.	50	5	45	90.0	8	16.0	16	32.0	13	26.0	13	26.0	231.7	70.7	57.4
	N.H.	10	1	9	90.0	3	30.0	3	30.0	3	30.0	1	10.0	263.5	76.5	54.3
	計又は平均	390	32	358	91.8	150	38.5	143	36.7	54	13.8	48	11.0	271.5	80.1	55.8
36	W.L.	170	17	153	90.0	67	40.6	55	32.4	21	12.4	25	14.6	268.3	80.2	54.9
	B.P.	20	3	17	85.0	3	15.0	7	35.0	5	25.0	5	25.0	225.6	72.5	56.5
	N.H.	10	—	10	100	3	30.0	4	40.0	3	30.0	—	—	280.4	80.1	53.1
	計又は平均	200	20	180	90.0	75	37.5	66	33.0	29	14.5	30	15.0	264.3	79.4	55.0
37	W.L.	170	14	156	91.8	89	52.4	52	30.6	13	76	16	9.4	283.7	83.2	54.7
	B.P.	10	3	7	70.0	5	50.0	4	40.0	1	10.0	—	—	286.3	83.9	56.8
	N.H.	10	—	10	100	6	60.0	4	40.0	—	—	—	—	298.9	85.4	54.6
	計又は平均	190	17	173	91.1	100	52.6	60	31.6	14	7.4	16	8.4	284.6	83.4	54.8
38	W.L.	140	11	129	92.1	73	52.1	51	36.4	7	5.0	9	6.4	286.1	84.5	54.9
	B.P.	10	0	10	100	3	30.0	5	50.0	2	20.0	—	—	275.0	78.6	54.4
	N.H.	10	0	10	100	1	10.0	4	40.0	4	40.0	1	10.0	243.0	69.2	54.1
	計又は平均	160	11	149	93.1	77	48.1	60	37.5	13	8.1	10	6.3	282.7	83.1	54.8